



## サードパーティ製 SIP 電話の設定

- [サードパーティ製 SIP エンドポイントの概要, 1 ページ](#)
- [サードパーティ製 SIP エンドポイント設定のタスク フロー, 2 ページ](#)

### サードパーティ製 SIP エンドポイントの概要

SIP を実行する Cisco Unified IP Phone に加え、Cisco Unified Communications Manager は、さまざまなサードパーティ製 SIP エンドポイントをサポートしています。Cisco Unified Communications Manager の管理ページで、次のサードパーティ製 SIP エンドポイントを設定できます。

- サードパーティ製 SIP デバイス（拡張）：この 8 回線 SIP デバイスは、SIP を実行している、RFC3261 準拠のサードパーティ製電話機です。
- サードパーティ製 SIP デバイス（基本）：この 1 回線 SIP デバイスは、SIP を実行している、RFC3261 準拠のサードパーティ製電話機です。
- サードパーティ製 AS-SIP デバイス：Assured Services SIP（AS-SIP）エンドポイントは、MLPP、DSCP、TLS/SRTP、および IPv6 要件に準拠した SIP エンドポイントです。AS-SIP は、Unified Communications Manager に複数のエンドポイントインターフェイスを提供します。
- Generic Desktop Video Endpoint：この SIP デバイスは、ビデオ、セキュリティ、設定可能な信頼性、および Cisco の拡張機能をサポートします。このデバイスは、8 回線をサポートします。各回線のコールとビジー トリガーの最大数は、それぞれ 4 と 2 です。
- Generic Single Screen Room System：この SIP デバイスは、1 画面のテレプレゼンス（ルーム システム）、ビデオ、セキュリティ、設定可能な信頼性、および Cisco の拡張機能をサポートします。このデバイスは、8 回線をサポートします。各回線のコールとビジー トリガーの最大数は、それぞれ 4 と 2 です。
- Generic Multiple Screen Room System：この SIP デバイスは、複数画面のテレプレゼンス（ルーム システム）、ビデオ、セキュリティ、設定可能な信頼性、および Cisco の拡張機能をサポートします。このデバイスは、8 回線をサポートします。各回線のコールとビジー トリガーの最大数は、それぞれ 4 と 2 です。

# サードパーティ製 SIP エンドポイント設定のタスクフロー

## 手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	<a href="#">ダイジェストユーザの設定, (3 ページ)</a>	ダイジェスト認証を有効にするには、ダイジェストユーザとなるエンドユーザを設定します。Cisco Unified Communications Manager は、[エンドユーザの設定 (End User Configuration) ] ウィンドウで指定されたダイジェストクレデンシヤルを使用して、SIP トランクとのチャレンジの間、SIP ユーザエージェントの応答を検証します。  サードパーティ製 SIP 電話がダイジェストユーザをサポートしていない場合は、サードパーティ製 SIP 電話の電話番号に一致するユーザ ID でユーザを作成します。たとえば、1000 という名前のエンドユーザを作成し、電話の電話番号として 1000 を作成します。このユーザを電話に割り当てます。
ステップ 2	<a href="#">SIP プロファイルの設定</a>	SIP トランクに関連付けられている一連の SIP 属性を提供します。
ステップ 3	<a href="#">電話セキュリティ プロファイルの設定</a>	ダイジェスト認証を使用するには、新しい電話セキュリティプロファイルを設定する必要があります。自動登録用に提供されている標準の非セキュア SIP プロファイルのいずれかを使用している場合、ダイジェスト認証を有効にすることはできません。
ステップ 4	<a href="#">サードパーティ SIP エンドポイントの追加, (5 ページ)</a>	サードパーティ製エンドポイントを設定します。
ステップ 5	<a href="#">エンドユーザとデバイスの関連付け</a>	サードパーティ製エンドポイントをエンドユーザと関連付けます。

## 次の作業

電源を投入し、ネットワーク接続を確認して、サードパーティ製 SIP エンドポイントのネットワーク設定を行います。ネットワーク設定の詳細については、サードパーティ製 SIP エンドポイントのユーザガイドを参照してください。

## ダイジェストユーザの設定

ダイジェストユーザとして、エンドユーザを設定するには、次の手順を実行します。ダイジェスト認証によって、Cisco Unified Communications Manager は接続してくるデバイスが正当なものかどうかを確認できます。確認するとき、デバイスはユーザ名とパスワードに類似したダイジェストクレデンシャルを検証用に Cisco Unified Communications Manager に送ります。送られたクレデンシャルがデータベース内に設定されたそのデバイスに対するクレデンシャルと一致した場合、ダイジェスト認証は成功となり、Cisco Unified Communications Manager によって SIP リクエストが処理されます。

### 手順

- ステップ 1 Cisco Unified CM の管理から、[ユーザの管理 (User Management)] > [エンドユーザ (End User)] を選択します。
- ステップ 2 [新規追加 (Add New)] をクリックします。
- ステップ 3 [ユーザ ID (User ID)] を入力します。
- ステップ 4 [姓 (Last Name)] を入力します。
- ステップ 5 [ダイジェストクレデンシャル (Digest Credentials)] を入力します。ダイジェストクレデンシャルは英数文字列です。
- ステップ 6 [エンドユーザの設定 (End User Configuration)] ウィンドウでその他のフィールドに入力します。フィールドとその設定オプションの詳細については、オンラインヘルプを参照してください。
- ステップ 7 [保存 (Save)] をクリックします。

### 次の作業

[SIP プロファイルの設定](#)

## SIP プロファイルの設定

### はじめる前に

- [SIP 電話のセキュア ポートの設定](#)
- [サービスの再起動](#)

## 手順

- ステップ 1 Cisco Unified CM の管理で、[デバイス (Device)] > [デバイスの設定 (Device Settings)] > [SIP プロファイル (SIP Profile)] を選択します。
- ステップ 2 [検索 (Find)] をクリックします。
- ステップ 3 プロファイルをコピーする場合は、[コピー (Copy)] 列のファイルアイコンをクリックします。
- ステップ 4 新しいプロファイルの名前と説明を入力します。
- ステップ 5 Cisco Unity Connection が Cisco Unified Communications Manager との通信に IPv6 または IPv4/IPv6 デュアル スタックを使用する場合は、[ANAT を有効化 (Enable ANAT)] チェックボックスをオンにします。  
この手順は、IPv6 またはデュアル スタック環境で発信者を適切に処理するために必要です。
- ステップ 6 [保存 (Save)] をクリックします。

## 次の作業

[電話セキュリティ プロファイルの設定](#)

# 電話セキュリティ プロファイルの設定

Cisco Unified Communications Manager は、自動登録用の事前に定義された非セキュアなセキュリティ プロファイル一式を提供します。電話のセキュリティ機能を有効にするには、新しいセキュリティ プロファイルを設定し、それを電話に適用する必要があります。新しいセキュリティ プロファイルを設定するには、次の手順を実行します。

## はじめる前に

SIP 電話を設定する場合は、次の手順を完了します。

- [SIP 電話のセキュア ポートの設定](#)
- [サービスの再起動](#)
- [SIP プロファイルの設定](#)

SCCP 電話を設定する場合は、次の手順を開始する前に完了しておく前提条件はありません。

## 手順

- ステップ 1 Cisco Unified CM の管理から、[システム (System)] > [セキュリティ (Security)] > [電話セキュリティプロファイル (Phone Security Profile)] の順に選択します。
- ステップ 2 [新規追加 (Add New)] をクリックします。
- ステップ 3 [電話セキュリティプロファイルのタイプ (Phone Security Profile Type)] ドロップダウン リストから、作成するプロファイルのタイプを選択します。
- ステップ 4 [Next] をクリックします。
- ステップ 5 [電話セキュリティプロファイルのプロトコルの選択 (Select the phone security profile protocol)] ドロップダウン リストから、プロトコルを選択します。
- ステップ 6 [Next] をクリックします。
- ステップ 7 [Name] フィールドにプロファイルの適切な名前を入力します。
- ステップ 8 プロファイルに関する簡単な説明を入力します。
- ステップ 9 [保存 (Save)] をクリックします。

## 次の作業

SIP および SCCP の両方の電話について：

[サードパーティ SIP エンドポイントの追加, \(5 ページ\)](#)

# サードパーティ SIP エンドポイントの追加

## はじめる前に

[ダイジェストユーザの設定, \(3 ページ\)](#)

## 手順

- ステップ 1 Cisco Unified CM の管理から、[デバイス (Device)] > [電話 (Phone)] を選択します。
- ステップ 2 [新規追加 (Add New)] をクリックします。
- ステップ 3 [電話タイプ (Phone Type)] ドロップダウン リストから、次のいずれかを選択します。
  - サードパーティ SIP デバイス (基本)
  - サードパーティ SIP デバイス (拡張)
  - サードパーティ AS-SIP デバイス
  - Generic Desktop Video Endpoint
  - Generic Single Screen Room System

- Generic Multiple Screen Room System

- ステップ 4** [電話の設定 (Phone Configuration) ] ウィンドウのフィールドを設定します。フィールドとその設定オプションの詳細については、オンライン ヘルプを参照してください。
- ステップ 5** [保存 (Save) ] をクリックします。
- ステップ 6** サードパーティのエンドポイントの電話番号を設定するには、ウィンドウの左側にある [関連付け情報 (Association Information) ] エリアに表示される、[新しい DN を追加 (Add a New DN) ] リンクをクリックします。  
[電話番号の設定 (Directory Number Configuration) ] ウィンドウが表示されます。詳細については、電話番号の追加と設定に関するトピックを参照してください。

### 次の作業

[エンドユーザとデバイスの関連付け](#)

## エンドユーザとデバイスの関連付け

### 手順

- ステップ 1** [Cisco Unified CM の管理 (Cisco Unified CM Administration) ] で、[ユーザの管理 (User Management) ] > [エンドユーザ (End User) ] を選択します。
- ステップ 2** [ユーザを次の条件で検索 (Find Users Where) ] フィールドで適切なフィルタを指定した後、[検索 (Find) ] をクリックしてユーザのリストを取得します。
- ステップ 3** ユーザを一覧から選択します。
- ステップ 4** [デバイス情報 (Device Information) ] セクションを探します。
- ステップ 5** [デバイスの割り当て (Device Association) ] をクリックします。  
**[ユーザ デバイス割り当て (User Device Association) ]** ウィンドウが表示されます。
- ステップ 6** デバイスを探して選択します。
- ステップ 7** 関連付けを完了するには、[選択/変更の保存 (Save Selected/Changes) ] をクリックします。
- ステップ 8** [関連リンク (Related Links) ] ドロップダウン リスト ボックスで [ユーザの設定に戻る (Back to User) ] を選択し、[移動 (Go) ] をクリックします。  
[エンドユーザの設定 (End User Configuration) ] ウィンドウが表示され、選択し、割り当てたデバイスが、[制御するデバイス (Controlled Devices) ] ペインに表示されます。

## サードパーティのインタラクションと制限事項

### サードパーティの制限事項

表 1: サードパーティ製 SIP エンドポイントの制限事項

制約事項	説明
Cisco Video Communication Server (VCS) のリングバック トーンの制限は、サードパーティ製 SIP エンドポイントに登録されています。	Cisco Unified Communications Manager に登録された VCS エンドポイント上で発生する転送を要求するためのブラインド転送やスイッチには、リングバック トーンはありません。監視転送を行う場合、保留音 (MOH) は割り当てますが、リングバック トーンは割り当てません。

